

三重大学医学部附属病院：レジデントプログラム 2016.4～

三重大学病院について

設立：昭和18年12月(三重県立医学専門学校附属病院)
 病院機能：特定機能病院
 病床数：685床
 拠点病院指定

- エイズ治療拠点病院 1996.2.21
- 地域災害拠点病院 1997.1.6
- がん診療連携拠点病院 2007.1.31
- 肝疾患診療連携拠点病院 2008.12.25
- 小児がん拠点病院 2013.2.8
- 三重県アレルギー疾患医療拠点病院 2018.3.30
- 三重県難病診療連携拠点病院 2019.4.1
- がんゲノム医療拠点病院 2019.9.19

がん診療
に特徴がある



令和元年仕事納め 集合写真 2019.12.28



- 入院・診療棟 2011年12月 開院
- 外来・診療棟 2015年 5月 開院

- 手術部、集中治療センター、外来化学療法部、病棟各階にサテライトファーマシーを設置
- 抗がん剤調製ロボットを配備

薬剤部 スタッフ構成 (定員数で記載)

教員:教授(兼薬剤部長)1名、准教授(兼副薬剤部長)1名、講師1名
 職員:薬剤主任9名、常勤職員24名、非常勤職員19名
 薬剤師レジデント:1年次研修生5名、2年次研修生5名
 事務補佐員:2名

研究、教育にも
力を入れる体制

薬剤部が取得している研修施設認定

- 認定薬剤師制度研修認定施設(日本医療薬学会)
- がん専門薬剤師研修認定施設(日本医療薬学会)
- 薬物療法専門薬剤師研修認定施設(日本医療薬学会)
- がん薬物療法認定薬剤師研修認定施設(日本病院薬剤師会)
- 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師研修認定施設(日本病院薬剤師会)
- 日本臨床薬理学会認定薬剤師制度研修認定施設(日本臨床薬理学会)
- 実務研修生受入施設(日本薬剤師研修センター)
- 薬学生実務実習受入施設(薬学教育協議会)

専門薬剤師取得
にアドバンテージ

有資格者

がん専門・指導薬剤師、感染制御専門薬剤師、精神科薬物療法認定薬剤師、妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師、救急認定薬剤師、日本臨床薬理学会指導薬剤師、老年薬学指導薬剤師 等



手術部サテライトファーマシー外観

抗がん剤調製ロボット



- 大学院医学系研究科 臨床薬理学講座の研究室
- 大学院生の指導も行う
- 培養細胞実験、動物実験、臨床研究を実施

臨床薬理学研究室

レジデント研修の特徴

- 採用試験では**優秀者を優先的に採用**(フルタイム職員の採用を併設)
- 2年間の研修を基本
- 1年次は**医療薬学一般コース**
薬剤部中央業務+外来化学療法、手術室、持参薬確認業務
- 2年次は**チーム医療を実践する能力を修得する医療薬学専門コース**
病棟薬剤業務、緩和ケアチーム、AST、NST等
- セミナー研修(1年次に年間20回)
- 専門医による講義研修(年間10回×2年間)
- 臨床研究についても指導
- 機会があれば、**海外研修も実施(2016年、2017年)**

待遇等(2019年度実績)

給与等	基本給(日給制): 大学卒(6年制):10,104円~ 諸手当:通勤手当、住居手当、超過勤務手当、退職手当
雇用期間	単年度ごとの契約
勤務時間	週38時間45分勤務
休暇	年次有給休暇、有給休暇(リフレッシュ、夏季、忌引等)、無給休暇(病氣、産前・産後等)
加入保険	厚生年金、健康保険、雇用保険、労災保険



2016年12月1日~9日
Cleveland clinic視察、
ASHP Midyear clinical
meeting 2016参加
第1期生2名と職員

研修スケジュールの例

1年次研修	2年次研修
4月 調剤室	4月 病棟研修
5月 注射剤供給管理室	5月 病棟1
6月 麻薬室・総合製剤室	6月 病棟2
7月 手術部	7月 病棟3
8月 薬剤管理指導室	8月 病棟4
9月 (病棟、持参薬業務)	9月 1ヶ月1疾患
10月 がん薬物療法管理室	10月 1ヶ月1疾患
11月 外来化学療法部	11月 1ヶ月1疾患
12月 調剤室	12月 病棟4
1月 注射剤供給管理室	1月 病棟4
2月 医薬品情報室	2月 病棟4
3月	3月 病棟4

薬剤師としての実践力
を身につける業務研修

医師による講義
病態の知識、処方意図
を理解する

- 講義研修をより有意義にする
- チーム力の醸成
- 学習領域での薬剤師の活動を知る

講義研修

開催日	時間	分野	タイトル	所属
2018年6月	18:00-19:00	心臓・血管系疾患	心臓病	循環器内科
2018年7月	18:00-19:00	呼吸器疾患	COPD	呼吸器内科
2018年8月	18:00-19:00	内分泌・代謝疾患	糖尿病	内分泌内科
2018年9月	18:00-19:00	消化器疾患	消化性潰瘍	消化器内科
2018年10月	18:00-19:00	腎臓疾患	腎臓病	腎臓科
2018年11月	18:00-19:00	皮膚疾患	アレルギー性皮膚炎	皮膚科
2018年12月	18:00-19:00	神経疾患	脳神経	脳神経科
2019年1月	18:00-19:00	精神疾患	統合失調症	精神科
2019年2月	18:00-19:00	血液疾患・腎臓疾患	腎不全	血液浄化療法部
2019年3月	18:00-19:00	感染症	菌血症	感染症内科

セミナー研修

講義研修で学ぶ疾患について、調べてきたことをグループワークにより共有

【学習項目】
疫学・発症機序、診断、治療、興味を持った文献を紹介

【学習資源】
各種ガイドライン、書籍、文献等

【事前学習時間】
平均10時間程度

【セミナー開催頻度・時間】
1か月に2回、業務後に開催
平均2時間程度

第2期生5名

第1期生が発表
した記事



レジデントの実績 進路 2016~2019年度

年度	採用日	進路
第1期	H28.4.1	2年修了 三重大学大学院薬学専攻
	H28.4.1	H30.3.31 2年修了 北里大学大学院(北里専攻)
	H28.4.1	H29.12.7 2年修了 調剤科
	H28.4.1	H29.3.31 2年修了 京都薬科大学大学院(京都専攻)
第2期	H29.4.1	H31.3.31 2年修了 聖隷湘南病院(静岡)
	H29.4.1	H31.3.31 2年修了 聖隷湘南病院(千葉)
	H29.4.1	H30.3.31 2年修了 調剤科
	H29.4.1	H31.3.31 2年修了 千葉工業大学(千葉)
第3期	H30.4.1	2年修了 三重大学大学院薬学専攻
	H30.4.1	H30.3.31 2年修了 三重大学大学院薬学専攻
	H30.4.1	H30.3.31 2年修了 三重大学大学院薬学専攻
	H30.4.1	H31.3.31 2年修了 三重大学大学院薬学専攻
第4期	H31.4.1	H32.3.31 2年修了
	H31.4.1	H32.3.31 2年修了

学会発表 2016~2019年度

- 杉浦雄平、若本卓也、岡本大他、頭頸部癌患者におけるセツキアプ特異的IgEを指標としたアレルギー反応の予測系の構築と評価 医療薬学フォーラム2016 2016.7(名古屋)
- 杉浦雄平、向原里佳、本多立、澤田麻紀、村本優一、若本卓也、奥田真弘 三重大学医学部附属病院における多受容体作用抗精神薬(MARTA)の血漿モニタリング実施状況と対策 日本病院薬剤師会東海ブロック、日本薬学会東海支部合同学術大会2016(岐阜)
- 菊谷由里香、向原里佳、濱口直実 他、三重大学医学部附属病院における来客部等の医薬品の使用にかかる現状調査 第20回日本医薬品情報学会総会・学術大会 2017.7(東京)
- 菊谷由里香 レジデントプログラム、実績できる成果 -薬剤師レジデントの立場から- 第9回日本薬剤師レジデントフォーラム2018.3(神戸)
- 野中千鶴、向原里佳、熊野理奈 他、三重大学病院におけるサンシト含有製剤の処方状況と腸胃腸管硬化症への対応状況調査 第21回日本医薬品情報学会総会・学術大会 2018.6(京都)
- 川田隆、松田結子、澤田麻紀 他、障がい者の質の向上を目指して~薬剤師の視点からみたJ法による問題点の抽出と対応策の検討~ 第2回日本医療薬学会年会 2018.11(神戸)
- 鎌本麗子、池村健治、佐藤 他、大量メトレキネート療法時の副作用発現に対するフェブキスタット併用の影響 第8回日本医療薬学会年会 2018.11(神戸)
- 川田隆、杉本浩子、杉田結子 他、入院時持参薬に処方された薬剤の服用状況と問題点についての検討 第8回日本医療薬学会レジデントフォーラム 2018.9(福岡)
- 加藤千佳、若井忠恵、池村健治 他、入院時持参薬に内服薬を含む患者の血圧管理に及ぼす薬剤師の役割と処方内容の複雑性の影響 医療薬学フォーラム2019 2019.7(広島)
- 白石ひろ子、杉本浩子、向原里佳 他、三重大学病院における禁煙薬の使用状況の把握と内容分析 第9回日本薬剤師レジデントフォーラム 2019.3(東京)
- 加藤千佳、杉本浩子、水谷宗英 他、持参薬服用を契機に行われた薬学的介入事例の内容分析とその対応策の検討 第9回日本薬剤師レジデントフォーラム 2019.3(東京)
- 鎌本麗子、池田結子、杉本浩子 他、病棟担当薬剤師によるステロイド投与患者に対する薬学的介入事例の内容分析 第9回日本薬剤師レジデントフォーラム 2019.3(東京)

薬剤部のビジョン

- 高度先進医療・地域医療を支える
- 医療人としてのプロフェシヨリズムを醸成する
- 未来を開く診療・研究を推進する